

- ALPS処理水の放出がIAEAの国際安全基準に適合して行われるかを評価するため、IAEAにより技術的なレビューを放出前・中・後にわたり継続的に実施。
- 2022年2月に最初のIAEAレビューが実施され、同年4月にその見解をまとめた報告書が公表。東京電力は実施計画や放射線影響評価報告書を見直し、内容を充実。

IAEAによるレビュー

- ①ALPS処理水の性状や放出計画などについて、「安全性」の面に特化して集中的に評価する
- ②安全規制をおこなう主体である「原子力規制委員会」の対応を確認する
- ③ALPS処理水と環境中の放射性物質のモニタリングを独立した立場において実施することで、日本の公表データを裏付けする

2022年2月の主なレビュー対象項目

- ・ 放出されるALPS処理水に含まれる放射性物質の特性評価
- ・ ALPS処理水の放出プロセス（放出のために使用される装置など）の安全性
- ・ 放射線環境影響評価



実施計画や放射線環境影響評価等の見直し、内容の一層の充実

〔出典〕資源エネルギー庁「復興と廃炉」に向けて進む、処理水の安全・安心な処分④～IAEAがALPS処理水の安全性を確認
(<https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyoy/shorinsui04.html>) 等に基づき作成



ALPS 処理水の処分に関して、日本政府は国際原子力機関（IAEA）の国際安全基準に準拠して安全かつ透明性の高い方法で ALPS 処理水の放出を実施できるように、IAEA に対して ALPS 処理水の放出に関する計画や活動をレビューするよう支援を要請しています。IAEA は日本からの要請を受け入れて、今後数十年にわたる ALPS 処理水の放出が IAEA の国際安全基準に適合して行われているかどうかの技術的なレビューを実施します。レビューは複数のミッションにより構成されており、各レビュー実施後には進捗報告を目的とした報告書が公表されます。また、ALPS 処理水の放出開始前に、レビューの結論を含む包括的な報告書が公表される予定です。

IAEA は、2022年 2月14日～18日に最初のレビューを実施し、4月29日にそのレビューによって得られた指摘を取りまとめた報告書を公開しました。東京電力が原子力規制委員会に提出した実施計画の主な内容である関連設備の安全性について、東京電力により詳細な分析がなされ、設備の設計と運用手順の中での確に予防措置が講じられていることが確認されました。放射線影響評価については、包括的で詳細な分析が講じられており、人への放射線影響は日本の規制当局が定める水準より大幅に小さいことが確認されました。IAEA は、ALPS 処理水の放出を行うために相当量の作業と分析が実施されているが、この成果は、IAEA の安全基準の文脈に関連する要求事項への準拠を示すために、放射線影響評価の読み手がその内容をよく理解できるよう、文書で明確に説明される必要があると指摘しました。

IAEA レビューでのタスクフォースからの指摘を踏まえ、実施計画や人及び環境への放射線影響評価報告書が見直しされ、内容の一層の充実が図られました。

〔出典〕

- ・ 国際原子力機関「東京電力福島第一原子力発電所における ALPS 処理水の処分の安全性に関する IAEA レビュー 報告書 1：東京電力と経済産業省に対するレビューミッション」（2022年 2月）、https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/hairo_osensui/pdf/iaeaereport_2204.pdf
- ・ 経済産業省「IAEA は 2月に行われた東京電力福島第一原子力発電所の ALPS 処理水の安全性に関するレビューについて報告書を公表しました」（2022年 4月）
<https://www.meti.go.jp/press/2022/04/20220429002/20220429002.html>
に基づき作成

本資料への収録日：2023年 3月31日